



### 株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1  
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会  
印刷：小野印刷

■ 第 188 号 ■

## 株式会社ファルマ第37回通常株主総会 「職員の満足度を上げてやりがいある会社組織を目指して」

代表取締役 崎野 修

5月27日(木) 15時30分より第37回通常株主総会が本会議室で開催され、第1号議案から第7号議案まで全会一致で可決承認されました。2023年度の事業所活動報告と経営報告ではコロナ感染等により職場体制が厳しい中で助け合いながら業務遂行したことがファルマらしさの特徴に挙げられました。このような中で経常利益が予算達成し、必要利益を確保できたことは職員の奮闘による結果です。一方で2024年度予算は薬価改定とファルマ弘前薬局の基本料減算により厳しい予算となりました。引き続き処方箋獲得と技術料を追求しつつ経費節減を進めることを基本方針として確認しました。

また、今回の株主総会では取締役改選があり、長年に渡り代表取締役を務められた石川隆之前社長が退任され、新たな代表取締役に崎野が就任いたしました。筆者の視点で恐縮ですが、代表の重責を拝命するに当たり真に身が引き締まる思いであり、甚だ微力ではありますがファルマの更なる発展に向けて専心努力することをこの紙面を借りて決意させていただきます。同じく今回の



株主総会の様子

役員改選で工藤敏子前事務長が新たに取締役事務部長へ就任し、重任した相馬渉取締役薬剤部長を含めて新しい役員体制で臨むことが承認されました。

ファルマは2024年8月で創立34年目を迎えますが、この間の歴史は決して順風満帆ではなくむしろ苦難の連続でした。かつて発生した経営危機など度重なる困難を乗り越えて今日に至るのは石川前社長の不断の努力による賜物であり、紙面に書き尽くせないほどの多大な功績を残されました。折しも薬局経営は毎年薬価改定にあるように厳しい状況下に置かれています。新執行部は石川前社長の意思を引き継いで厳しい情勢を勝ち抜き経営を存続させること、そして更なる発展に向けて後継者を養成することに使命感をもって取り組みます。これを誓うために事業方針に「株式会社ファルマの経営理念」を提起しました。経営理念とは会社

の存在意義や価値観、社会的使命を示すものであり大切な羅針盤です。その第一節に「職員の物心両面の幸福の追求」として職員の満足度を上げることが謳われましたが、その理由はファルマが成長し続けるためには職員がやりがい・働きがいを持ち、自己実現できる会社組織であることが何よりも重要と考えたためです。職場や職員同士のコミュニケーションを大切にしながら理念の浸透を進めていきます。もう一点は組織再編として業務の部門別

管理の実施により意思決定の迅速化と責任の明確化を図ることを確認しました。厳しい時代を切り切るためには部門長を先頭に全職員が経営に参加することが重要

となり。最後に2024年度は国政選挙がありますが、今の政治が続くかぎり私たちの経営が良くなることは決してありません。社会保障を守り

6月1日(土) 弘前パークホテル13階にて社員集会所が行われました。初めに石川前社長より、社史の紹介がありました。現在も続く津軽保健生協との関わりが大変歴史あるものと学びました。次に、崎野新社長より2023年度の経営の特徴についてお話いただきました。昨今の調剤報酬改定・薬価改定、そしてコロナの影響で処方箋受け付け枚数は低迷し、調剤薬局経営に大きな打撃となっております。残念ながら、この流れは今後も続くと思われ、その辛い中でもファルマは各薬局創意工夫をし、事業収益を確保したことを共有しました。今回の調剤報酬改定では、薬剤師本来の仕事のあり方がより明確化したものとなっております。薬のプロとして積極的に技術料を算定することに加え、民医連・共同組織や人との繋がりを大切に、困難に立ち向かうことを参加社員一同で、意思統一・共有が出来たと思います。

意思統一・共有ができた社員集会所  
ファルマ浪岡薬局 主任補佐 雪田 友莉恵

2024年度 株式会社ファルマ社員集会所



集合写真を撮影しました！



石川前社長に感謝の気持ちを込めて花束を贈呈しました



わかりやすく報告してくださった崎野新社長



# 12才のわたし

ファルマ ーツ谷薬局 薬剤師 福井 寛太

私は中・高と吹奏楽部に所属していました。しかし、楽器や音楽に興味があったから入部したわけではありません。当時12歳。入学後は原則何かしらの部活動に入らなければならなかったのですが、運動が苦手だった私は唯一の文化部である吹奏楽部しか入る余地が無かったのです。入部初日、楽譜も読めず楽器の種類も何も分からなかったのですが「やってみよう楽器はある？」と先輩に聞かれ、思い付きで出てきたサクスをやってみようかと適当に答え、その日からサクス担当になりました。

それから数週間後のこと、少しずつ音が出るようになった頃に不注意から楽器を落として壊してしまいました。もう辞めると泣いている私に対し、「大丈夫。直るまでは空いているトランペットをやればいから。」と当時の顧問から言われたのですが、結局そこから6年間トランペットを続けることになりました。

今振り返ってみると、割とスパルタ系の部活だったのですが辞めずに続けたおかげで色々な大会に出ることが出来たし、音楽の知識を付けることもできたと思っています。

あれから数十年経ちましたがみんなどうしているだろうか。あの頃の恩師や仲間にもう一度会ってありがとうと伝えたいなあ……。



6年間トランペットの練習を頑張りました！

5月15日(水)、辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求めるオンライン学習会に参加しました。講演者の沖縄民医連課長・瀬長和男氏は、辺野古新基地建設がもたらす問題点を詳しく説明しました。国の代執行により、県が許可しなかった埋め立て工



## 沖縄県による設計変更不承認は当然

藤代薬局 三上 菜美

事が進められています。沖縄県は環境保護や住民の反対を理由に工事を拒否してきましたが、国はこれを覆し、工事を強行しています。この暴挙はまさに憲法に明示された地方自治を踏みにじるものです。この代執行により、地元住民や環境団体との間で激しい対立が続いています。

悪化し、事故や犯罪のリスクも懸念されます。戦後長期間にわたり米軍基地の負担を強いられてきた沖縄に新たな基地を建設することは、その負担をさらに増大させます。また、多くの沖縄住民が基地建設に反対しており、政府はその意見を真摯に受け止めることが重要です。地盤の脆弱性や工事の安全性への懸念もあり、沖縄県が設計変更申請を不承認にしたのは当然です。

5月25日(土)青森民医連医師総会にZOOMで参加しました。まず、研修医3年目、2年目の医師、新入医師から工夫を凝らした近況報告や研修報告があり、大変な中でも懸命に頑張られている姿が印象的でした。その後医師署名の取り組みについて、県連医師部の設置などのお話がありました。

## 後継者の確保と養成をすすめるために

本部 次長 阿部 千佳子

総会を通して、医師数が増えているのに忙しさが変わらないということや、医師の増員とはいかがいが増えるかどうか、最初に削られる仕事は医学書に載っていない医学対が大切になってきたことが削られるのではないかと、一緒にやってみよう(働いて)いこうという話を実際に伝えていきたいと思います。



医師総会に参加した皆さん(会場)

### Pharmaizmへの意見コーナー

先日のアンケートでPharmaizmへいただいたご意見を今月からご紹介いたします。

いつもありがとうございます。今後も楽しみにしています(多数)。

楽しく読ませていただいています。特にファルマの職員のプライベートな記事(「10才のわたし」など)にはいつもクスッとできる内容や微笑ましい内容が盛りだくさんで、休憩時間にぴったりだと思えます。

うれしいご感想ありがとうございます。楽しくお読みいただき、委員一同感謝いたします。今後も職員の皆様の人となりわかる楽しい記事を掲載していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 記事の依頼はなるべく参加前にお願ひしたいです(複数)

貴重なご意見ありがとうございます。委員会としてはなるべく事前にお願ひするように心がけておりますが、委員会開催時期と行事との関係でご迷惑をおかけしたのだと思われまます。行事参加前にご依頼できるように努めますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 写真紹介

#### 5/11 北支部へ出前講座

5月11日(土)津軽保健生協北支部主催の出前講座が「葉の種類と飲み方・食べ物やサプリメントとの飲み合わせ」をテーマに平川市のからんころん温泉で開催されました。講師はファルマ弘前薬局の外崎薬剤師でした。初めての出前講座で緊張もありましたが、参加者の皆さんが傾きながら講義を聴いてくれました。



初めての出前講座で堂々と話をする外崎薬剤師

#### 5/20 下町支部へ出前講座

5月20日(月)津軽保健生協下町支部主催の出前講座が「眠れない話」をテーマに黒石市の大河原温泉で開催され、20名が参加されました。講師は弘前調剤センターの佐藤薬局長で、「ラジオを聴きながら寝るのは良くないのか」「睡眠導入剤とは」などの質問を受けました。



たくさんの方が参加し、熱心に話を聴いていました

#### 5/12 青森民医連定期総会

5月12日(日)青森民医連第57期定期総会が浪岡中央公民館で開催され、ファルマから4名の代議員と理事2名と監事1名が参加しました。全体会と分散会を通して各事業所での2年間の取り組みが多く挙げられていましたので、今後の業務や活動などに活かしましよう。



全体会で発言する高橋薬局長